



よこすか市議会だより

YOKOSUKA CITY COUNCIL

〒238-8550 横須賀市小川町11番地 ☎046(822)9394 [市議会議会事務局課]

横須賀市議会

検索



pd-ccs@city.yokosuka.kanagawa.jp

No.48

令和5年(2023年)
4月27日号

発行 横須賀市議会
編集 広報広聴会議



公共交通の在り方検討協議会委員による政策提言の説明の様子



「公共交通の在り方の政策提言に関する広報広聴会」を開催しました(3面に関連記事を掲載)



参加者と議員による政策提言に関する懇談の様子

令和5年度予算を審査・可決

3月定例議会

3月定例議会を2月14日～3月24日の期間で開催しました。

この定例議会は主に市長から出された令和5年度の施政方針とそれに伴う予算を審議する定例議会です。

市長からは、新型コロナウイルス感染症について5月に感染症法上の扱いが5類へと引き下げられることを見据え、「横須賀再興プラン」第2ステージとして取組の成果を表面化、顕在化させるための予算編成が示されました。

その令和5年度の一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算総額は、3278億円、そのうち一般会計は、1611億円という予算案で、これに対し、各党派は代表質問を、無党派議員は個人質問を行い、市長などの考えを問いました。

その後、4つの予算決算常任委員会分科会に分かれて、所管部局ごとに詳細な審査を行いました。本会議にて、反対討論があり、令和5年度予算案は採決の結果、賛成多数で可決しました。最終日には追加議案として、新型コロナウイルスの接種体制を確保するための補正予算等が提出され、各委員会において審査を行いました。本会議で採決の結果、全て可決しました。

また、提出された請願4件、陳情3件については、各常任委員会において審査し、請願4件は、本会議で賛成討論がありました。採決の結果、賛成少数で不採択となりました。(審査結果は4面に掲載)

本会議終了後、横須賀市議会実行計画「未来への羅針盤2023」の最終報告が行われました。次期計画については、改選後の新たなメンバーで、検討し、また今期申し送りされたことをしっかりと実施していきます。(関連記事を4面に掲載)

小児医療費助成の対象年齢の拡大について審査

現在、本市では15歳の

した。

主な質疑

問 10月までかかる理由は。

答 システムの改修に加え、医療証の申請を受けから審査し、交付するまでの手続きにも時間を要する。

問 収入がある場合も対象となるのか。

答 所得制限はないため、収入があっても対象となる。

地域生活相談を全ての行政センターで実施することについて審査

現在、6行政センター

現地向かう対応をとっている。

問 より相談しやすい窓口となることを期待するが、いかがか。

答 ホームページを含めた情報発信を充実させるとともに、地域の方に知っていただくことが重要なため、地域団体の会合等に積極的に出席しながら、気軽に相談できることをアピールしていきたい。

令和5年度は全センターに専任職員が配置されるほか、課の組織として市民相談室が設置されるなど、相談に関する組織が強化されます。

主な質疑

問 電話や窓口で相談を受けた後、現地に足を運ぶアウトリーチも行っているか。

答 相談者の要望に応じて、現地を確認したほうがよい場合は、速やかに

問 助成に際し小児医療証が発行されるが、対象年齢が18歳までになった後の名称については何か考えているか。時期を見て、できれば小児という名称以外への変更を将来的には考えていただきたい。

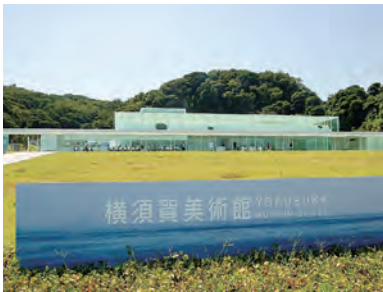
答 現状では、15歳までの方と同じように小児医療証という名称で統一したいと考えているが、18歳時点で小児となると確かに違和感が出る可能性はある。システムの改修が必要となるので、それを考慮しながら検討していきたい。

問 WEBでの相談を望んでいる人も多いと思うので、早急に取り組んでいただきたいが、いかがか。

答 LINEの通話等も含めて、どのようなツールを使えばできるのかを研究し、窓口にお越しにならずともWEBでの相談が受けられる体制の構築を進めていきたい。



美術館の歳入歳出予算の見直しについて審査



横須賀美術館では、今年度、仏像やスカジャンの展示、能楽の上演や朝のコンサートを開催など、これまでに挑戦してこなかった新たなジャンルにもチャレンジし、市内外から高い評価となり、多くの方に美術館にお越しいただいています。

一方で、以前からの美術館の課題であった収支の不均衡について、来年度、管理運営費の見直しや新たな財源の確保にチャレンジするなど大幅な見直しを行い、4年間で歳入の約2億2千万円増加、歳出の約8千万円の削減により、合計して3億円以上の見直しの効果を見込んでいます。その内容について委員会にて審査を行いました。

主な質疑

問今年度、美術館は教育委員会から市長部局へ移管となった。それにより運慶展、スカジャン展等、様々なイベントの開催など活気が出ていると感じる。携わる職員の意識改善もできていると感じるが、今回そのうちした中で国の交付金を新規で獲得できたことは高く評価できる。その背景は。

答今年度の運慶展も国の補助金を導入するなど、財政面で工夫し行っている。攻めの展示会をしつつ、コストを削るところは削る姿勢でいる。今回の交付金についても、市議会から指摘を受けている中で、こういったことができるのか模索し、申請、交付金の獲得につながった。

市内公園の在り方について幅広く質疑

横須賀市内の公園は、一人当たりの公園面積が神奈川県内で2番目の大きさであり、市民の憩いの場として重要な役割を果たしています。委員会では、公園の全般的な管理の在り方から、公園プールの活用方針、都市公園化を検討している大矢部弾庫跡地の活用方針など幅広い質疑がなされました。

主な質疑

問街区公園の清掃は町内会等によって担われてきたところが大きいですが、高齢化の進展に伴い、継続が難しい地域も増えてきている。公園内の枝の剪定、除草が追いついていない箇所も目立つ。予算をしっかりと確保していく必要があるのではないか。

答町内会等が清掃できなくなった場合、市が業者に委託して、作業してもらえよう予算を計上している。以前は年4回除草をしていたが、現在は年2回となっており、地域住民からの連絡をもらってから除草するという後追い状態が続いている。手厚く予算をつけてもらうよう要求していきたい。

問公園の遊具について、健康遊具を求める声が高まっている。地域の年齢構成分布も踏まえ、健康遊具の導入を検討するべきではないか。

答長寿命化対策の対象公園については町内会に健康遊具の紹介をしている。既存の遊具をそのまま更新するだけではなく、敷地を広くすることでも違う利用の仕方ができることも提案したい。

問市内6か所の公園内にプールがあるが、冬場は閉鎖している。他都市ではオフシーズンにプールを釣堀にしたり、テントサウナを設置するなど有効活用の事例がある。本市でも検討すべきではないか。



答大矢部弾庫跡地は横須賀の中心に位置している。全国に発信できるような特色ある取組ができないか、サウディング調査の結果に甘んじず、追求していきたい。

問同跡地には集排水設備等のインフラ整備、急峻な斜面への安全対策、除草処理、交通アクセスの改善等の費用が膨大になる懸念がある。

答基盤部分に相当のてこ入れが必要になると思われる。公園活用の目的を明確にして、費用対効果をしっかりと打ち出しながら、市の負担を減らせるような取組を今後追求していきたい。

代表電話とコールセンターの統合について審査

現在、電話での市への問い合わせは、主に代表電話とコールセンターの2つで対応しています。攻めの展示会をしつつ、コストを削るところは削る姿勢でいる。今回の交付金についても、市議会から指摘を受けている中で、こういったことができるのか模索し、申請、交付金の獲得につながった。

各課への転送のみですが、コールセンターでは、その場で回答できるものもあることから、統合により各課へ転送することなく解決できることが増えるとしています。

この件に関し、令和5年度予算案にて提案があり、委員会にて審査を行いました。

主な質疑

問統合の結果、市民から見たメリットとしては、各課への転送が減り、その場で解決することが増えるということか。

答その部分が最大のメリットであり、目的である。電話を受けたその場で解決するという一次解決率をいかに上げていくかが、重要であり、統合のメリットである。

問統合後は、まず音声ガイダンスによる振り分けを行うとのことだが、高齢の方などの問い合わせにおいて、操作を難しくはならず、上手いのか。

答プッシュ番号については、極力絞りわかりやすくしていく。既に同様のシステムを導入している横浜市では特に問題がなく、いい面として、案件によって振り分けられるので待つ時間が減ったなどの事例も聞いている。

GIGAスクール推進事業について審査

本市では、小・中学校、ろう学校、養護学校において1人1台のタブレット端末を貸与し、ICT機器を活用した授業を実施し、また教員へのICT研修等の支援を行っている専門知識を持ったICT支援員を配置している。

まず。新年度におけるこれらのGIGAスクール推進に係る予算について、委員会にて審査を行いました。

問ICT支援員の配置の在り方に変更はあるか。

主な質疑

答支援員には、小学校・養護学校を月2回、中学校・ろう学校を月1回程度訪問してもらう。中学校はICTの活用が進んでいるので、小学校をより重点的にということと、回数を増やしている。

問GIGAスクールの推進が学力向上に繋がった事例はあるか。

答タブレットというツールを使うことで児童生徒



が個々に持っている潜在能力を引き出すきっかけとなり、それが学力向上につながっていくことを期待している。

プラスチックの資源化・再商品化に向けた取組について審査

昨年11月から市内2つのモデル地区で、容器包装プラスチックと製品プラスチックの一括収集を試験的に実施しています。これまでにごみの組成調査や一括収集による課題等を把握するためのアンケートを行い、プラスチックの資源化・再商品化処理に向けて検証を行いました。またこの取組の効果として、プ

主な質疑

問今年度の10月からプラスチックの資源化・再商品化処理に向けて検証を行いました。またこの取組の効果として、プ

ラスチックを燃せるごみから再資源化することでCO2排出量の削減が見込まれます。新年度予算ではプラスチック資源化・再商品化のための処理費用や分別変更に係る啓発物の作成経費等が盛り込まれ、委員会にて審査を行いました。

問ごみ分別パンフレットについて、外国人向けのものとは作成するのか。

答現在の英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語に、令和5年

度はベトナム語を加えて、6か国語のパンフレットを作成する。

問プラスチックの再商品化を進める中で、こういった製品にリサイクルされるのか、市民に周知していくべきではないか。

答パレットやプラランターなどのプラスチック製品に使われていくと聞いている。市民の協力を得て分別されたプラスチックがどのようにリサイクルされるのか、見せる機会を考えていきたい。

公共交通の在り方に関する 政策提言書を提出

4年間の市議会の実行計画である「未来への羅針盤2023」に基づき、「公共交通の在り方検討協議会」を令和3年10月に設置し、公共交通の在り方に関する政策提言に向けた検討を行ってきました。

このテーマを選定した理由としては、人口減少・少子高齢化が進展する本市にあって、地理的特性である高台地域や鉄道路線の無い地域における市民の移動手段を将来的にどのように維持していくのか、また、国道357号の南下延伸計画や横須賀新港での新規フェリー定期航路の開設、さらにはルートミュージアムの観光路線の開拓といった地域の経済活性化を効果的に図る交通網体系の構築など、今後の横須賀のまちづくりを考えるときに公共交通は喫緊の重要な課題となっていると考えられるためです。

本協議会ではまず本市の公共交通が置かれた現状を、1次公共交通（電車・バス）における人口減少・少子高齢化の影響と2次交通（最寄りの1次交通網までの移動手段）としてのコミュニティバス事業、加えて新型コロナウイルス感染症の影響による公共交通利用の変化という観点で整理しました。その現状から1次公共交通の維持、1次公共交通を補完するコミュニティバスの推進、新たな生活様式に合わせた交通手段の対応という3点の課題解決を図るための政策提言を検討しました。



市民の意見をお聞きするため、広報広聴会議委員と共同で
広報広聴会を開催

今回政策提言を取りまとめるにあたって、市民の皆さんの声を反映させようと実施したのが広報広聴会です。当日は本協議会の委員と広報広聴会議の委員が出席し、市民の皆さんとワークショップ形式での懇談を行いました（1面にも写真を掲載）。懇談の中では政策提言の素案に対して様々な角度からのご意見をいただき、本協議会の議論をさらに活発化させる貴重な機会となりました。

最終的に完成した政策提言書では、公共交通の在り方全般として取り組む項目と、地域を主体として取り組む項目に区分したうえで、事業推進主体者と受益者を明確化しました。公共交通の在り方全般として取り組む項目では、1次公共交通の路線維持及び利便性向上推進策やその安全対策、まちづくりと公共交通の一体的な地域ランドデザインの推進等について言及しています。また、地域を主体として取り組む項目においては、コミュニティバスの推進はもちろん、交通不便地における買い物弱者の支援、地域交通課題に対応する行政の組織体制の構築等についてまで提言しました。提言書の全文については市議会ホームページからご確認いただけますので、ぜひご覧ください。



市長に提言を提出



広報広聴会
報告書は
こちら



公共交通の
在り方に関する
政策提言書は
こちら

3月定例議会 代表質問・個人質問

発言通告の全文はこちら→



自由民主党
大貫次郎



- ①6年間の市政運営で道半ばと感じている課題について
- ②3つのグランドデザインの推進における課題について
- ③行政組織改正に基づく業務引継ぎ時の課題について
- ④所管庁への職員出向の効果に対する評価について
- ⑤企業誘致に向け土地所有者に造成を促す必要性について
- ⑥市内経済の活性化に向けた今後の取組について
- ⑦幅広い業種を対象に事業承継に取り組むことについて
- ⑧本市港湾の多機能化及び物流基地の誘致について
- ⑨新型コロナ5類への移行を見据えた観光施策について
- ⑩横須賀美術館の維持管理経費に対する対応について
- ⑪今後のFM戦略プランの具体的な進め方について
- ⑫施設再編のプロセスにおける課題及び取組姿勢について
- ⑬水道事業で国に補助制度の創設を求める必要性について
- ⑭消防技術向上のため訓練棟を建設する必要性について
- ⑮技術系職員採用試験に学校推薦枠を設けることについて
- ⑯本市独自のマイナンバーカードの利活用について
- ⑰ピンクリボンよこすかを継続して行うことについて
- ⑱街区公園に様々な機能を付加する必要性について
- ⑲スクールコミュニティに中学校を活用することについて
- ⑳町内会館建設費等補助金を見直す必要性について
- ㉑公共施設における照明のLED化について

よこすか
未来会議
小幡沙央里



- ①施政方針と人口減少下における方針について
- ②ファシリティマネジメントの一層の推進について
- ③浦賀、久里浜、衣笠地区の活性化について
- ④アーバンスポーツを楽しめる場の整備について
- ⑤行政DXの推進、電子決済や地域通貨の導入について
- ⑥市職員の市内居住の促進と障害者雇用の促進について
- ⑦ジェンダー平等のための市の取組について
- ⑧学校を核とした地域づくりについて
- ⑨若者会議の設置と大学との連携を推進することについて
- ⑩子ども・若者の居場所の確保について
- ⑪学童クラブと放課後こども教室について
- ⑫未就学児への支援の拡充について
- ⑬教職員の働き方改革・部活動の地域移行について
- ⑭不登校対策・インクルーシブ教育システムについて
- ⑮福祉政策における重層的支援体制整備事業推進について
- ⑯聴覚障害者への支援について
- ⑰観光立市とユニバーサルツーリズムの推進について
- ⑱津波避難訓練や原子力防災訓練について
- ⑲環境政策について

公明党
板橋 衛



- ①アフターコロナを見据えた今後の市政運営について
- ②人生100年時代の『健幸なまちづくり』について
- ③がん対策の強化と共生社会実現の為の環境整備について
- ④地域防災力向上のカギを握る防災リーダー育成について
- ⑤公共施設の省エネ対策としてESCO事業の積極展開について
- ⑥小児医療費助成の18歳までの引き上げについて
- ⑦急増する不登校児対策として特例校の設置について
- ⑧ICTを活用した緊急通報システム機器の導入について
- ⑨高齢者等のごみ出しを支援する体制整備について
- ⑩ふるさと納税を活用した「旅先納税」の導入について
- ⑪浦賀レンガドックの重要文化財指定への取組について
- ⑫市民の総幸福度を測る新たな指標（GYW）の導入について

日本共産党
ねぎしかずこ



- ①安保三文書で、戦争を支えるまちに本市をするな
- ②学校給食をはじめ義務教育での費用の無償化を
- ③高齢者が補聴器を買えるよう補助制度の創設を
- ④マイナカードと一体化した保険証への切替にノーを
- ⑤子どもの権利条例に則った、身なりチェックの廃止を

小林伸行



- ①市計画の観点では「縮退」を進め、新たな開発を抑制しコンパクトで便利なまちづくりをすべきではないか

藤野英明



- ①365日対応の保健医療福祉の総合相談を実現すべき
- ②第2期自殺対策計画はさらに高い目標値を設定すべき

小室卓重



- ①コロナ後の社会で子どもの権利を守ることについて
- ②基地のまちから平和を発信することについて

令和5年3月定例議会 審議結果

○＝賛成、×＝反対

賛否が分かれた議案	会 派				無会派						
	自由民主党	未来会議	よこすか	公明党	日本共産党	木下義裕	小林伸行	小室卓重	杉田 惺	はまのまさひろ	藤野英明
	12人	11人	7人	3人							
地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例中改正について	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	
漁港区域内駐車場の指定管理者の指定期間の変更について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
令和5年度横須賀市一般会計予算	○	○	○	×	○	×	○	○	○	×	
令和5年度横須賀市特別会計国民健康保険費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
令和5年度横須賀市特別会計介護保険費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
令和5年度横須賀市特別会計後期高齢者医療費予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
令和5年度横須賀市水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
令和5年度横須賀市下水道事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
令和5年度横須賀市病院事業会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
職員定数条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
職員給与と条例等の一部を改正する条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	
指定管理者選考委員会等条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
コミュニティセンター条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
医療費助成条例中改正について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	
市立高等学校及び市立幼稚園の教育職員並びに市立中学校の任期付教育職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例中改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
令和4年度横須賀市一般会計補正予算（第10号）	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
公有財産の取得について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	
久里浜1丁目公園グラウンドほか整備工事（その2）請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	

※その他議案33件については、全会一致で可決、同意しました。詳細は市議会ホームページにも掲載しておりますので、ご覧ください。 ※議長は、議事を取り仕切る立場から、採決には加わりません。

会派所属議員名 令和5年3月24日現在

- 自由民主党 加藤眞道 南まさみ 青木哲正 青木秀介 田辺昭人
松岡和行 大野忠之（議長） 渡辺光一 西郷宗範
山本けんじゅ 田中洋次郎 大貫次郎
- よこすか未来会議 高橋英昭 嘉山淳平 伊関功滋 小幡沙央里 加藤ゆうすけ
工藤昭四郎 竹岡 力 角井 基 長谷川昇 葉山なおし
堀りょういち
- 公 明 党 板橋 衛 土田弘之宣 石山 満 関沢敏行 本石篤志
二見英一 川本 伸
- 日 本 共 産 党 大村洋子 ねざしかずこ 井坂 直

請願・陳情

	件 名	結 果
請 願	田浦小学校の存続について	不採択
	横須賀石炭火力発電所の稼働中止及び再生可能エネルギー100%都市を目指す決議について	不採択
	みんなの家7施設に対する利用者の要望に応じたきめの細かい個別対応について	不採択
	国の温暖化対策の見直しを求める意見書の提出について	不採択
陳 情	建築指導や開発指導の在り方を検討することについて	趣旨不了承
	安保3文書の閣議決定を撤回し安保政策の変更に係る国民的議論を求める意見書の提出について	審査終了
	令和5年度よこすかエコポイント事業の補助対象に木質バイオマス活用機器を追加することについて	審査終了

「審査終了」とは、委員の意見が一致しないなど委員会としての結論が出せずに審査を終えた場合を言います。



編集後記



議員は5月1日に任期が満了し、改選期を迎えます。市議会は、この4年間、議会改革に取り組み、「議会改革度調査2022」でも、2019年の62位から31位まで上昇しました。また、新たな議員の紹介は次回号にて掲載予定です。

編集：広報広聴会議（◎＝委員長、○＝副委員長）◎高橋英昭／○石山 満／大貫次郎／渡辺光一／松岡和行／田辺昭人／竹岡 力／嘉山淳平／二見英一／井坂 直／小林伸行



横須賀市議会公式ツイッターは下の2次元コードから！



令和5年6月定例議会の予定

開催日	会議名
6月 6日（火）	議会運営委員会
6月 7日（水）	本会議、予算決算常任委員会（本会議終了後）
6月12日（月）	民生常任委員会（予算決算分科会） 都市整備常任委員会（予算決算分科会）
6月14日（水）	総務常任委員会（予算決算分科会） 環境教育常任委員会（予算決算分科会）
6月19日（月）	特別委員会（設置された場合に開会）
6月21日（水）	予算決算理事会、予算決算常任委員会（11時）
6月23日（金）	議会運営委員会、本会議（14時）

6月8日（木）・13日（火）・15日（木）・20日（火）、22日（木）は予備日です。インターネットで中継もご覧になれます。（本会議は手話通訳も同時に行っています。）
時間の記載がないものは10時開会。開会日時は変更される場合があります。傍聴のご案内など最新の状況は市議会HPか議事課でご確認ください。

横須賀市議会実行計画「未来への羅針盤 2023」最終報告

本市議会では政策形成サイクルに基づき、議員任期中の4年間を通しての計画である横須賀市議会実行計画「未来への羅針盤 2023」を令和2年3月に策定し計画的に取り組んできました。

各検討会議において精力的に協議を行い、会派を超えての合意形成に努め、これまでに3件の政策条例を制定し、本年2月には市長に公共交通の在り方に関する政策提言も行いました。また、議会改革についても計画した9件のうち、7件について改革を達成いたしました。

令和5年5月1日に現職議員は任期満了を迎えますが、改選後に策定される次期実行計画においても更なる政策立案と議会改革に取り組んでまいります。



最終報告はこちら